

中央情報通信

発行日 毎月15日

大日本生産党機関紙

第1403号 令和5年10月15日号

	中国共産党に内部異変が発生中！ ……………本紙編集部………… 1
	世界遺産となった「軍艦島」がブーム！ …………… 2
寄稿	ネパール人留学生を増やす国家計画のゆくえ…「兵庫通信」代表 村上 学………… 3
	プーチンと金正恩の会談で決まったこと……………5
	広島カープの球場には冷たい霧が立ちこめる……………5
	急増する自殺原因「突発ウツ」……………6
	地方事務局活動報告 …………… 6



10月7日 朝来市山口

本 社 〒847-0871 佐賀県唐津市東大島町 19-5
電話 090-3199-8446 no.shin.7771008@gmail.com
賛助購読料 年額 3,000円 (年10回発行)
ホームページ <http://大日本生産党.com/>

発行所
中央情報通信社
編集長/谷田 透

中国共産党に内部異変が発生中！

本紙編集部

習近平が五代目皇帝に正式就任してからの中共は、青年団派の壊滅を進めたり、上海派を権力から遠ざけたりして、周辺はイエスマンと忖度マンだけで執行部を形成してきた。政策的に失敗があれば、周辺がトカゲの尻尾を誰かに押し付けて粛清させてきた。清朝末期と全く同じ状況が見えてきたことに「大河はゆっくり流れるが、流れは変わらない」という大陸権力の姿を見るようだ。変革の周期がゆっくりしているだけで、中国は確実に変わりつつある。

習近平が「生涯の盟友」と全幅の信頼を寄せていたナンバー2の王岐山は、習近平を見捨てて資産を全てアメリカに移し、それが原因で失脚させられた。「経済の神様」と称して副総理に迎えた劉鶴は、コロナ後の経済混乱の処理に失敗して失脚させられた。周辺のイエスマンたちは、虎の威を借る狐そのもので、習近平の名前を使って好き勝手に国家を間違った方向に誘導している。国の将来より、自分自身の今日と明日が大事なものは、何処かの国の政官界トップと変わらない。



習近平が軍歴も革命歴も無いのは有名だが、権力の背景と保証をとりつけない為に、解放軍の予算と給料を倍増して頭を撫でてきたのは周知の通り。七軍区を五戦区に再編成し、陸軍、空軍、第一海軍、第二海軍、ミサイル・ロケット軍、サイバー軍、宇宙軍、武装警察隊、と独立した軍隊体制を張り子の虎として作り上げた。装備だけでなく、軍人も大増員された。給料も倍増された。解放軍はバラバラにしておかなければ、クーデターを起こして共産党政権を転覆させる恐れがあるので、軍隊内部はプチ対立関係になっている。軍人は習近平に従ってい

ば生活が安泰だと感じるように、給料は増え続けていた。

ところがインフレが進み、実質給料は目減りしている。増額や補填を請求できる権利は国防部長にあり、指導部に要求書を提出してから議論される。数百万人の解放軍は紙屑の人民元を貰っても、生活は苦しくなっているという。

李尚福国防部長はロケット軍で成績を出して拔擢された人だが、西側諸国と結びついていたと捏造された告発状が提出されて失脚した。軍の内部に動揺を引き起こすことが分かっているのに、軍人トップを「スパイ罪」で逮捕したのだ。

先日、アメリカ勤務で成績を上げて外交部長に昇格していた秦剛が、香港テレビの愛人の子どもを産ませてアメリカに移住させたと言われて、やはり「スパイ罪」になった。

軍人や官僚を逮捕するのは、今までなら規律委員会だったものが、今回は国家安全部と公安部が担当している。安全部と公安部が、社会治安の守護神とされている証明である。

また、李にしても秦にしても、習近平に「スパイ」として逮捕を要請する「文書を提出したのは、政治局の外交統括委員の**王毅**らしいのだ。

王毅は日本大使をしていた時代に、安倍晋三元首相の夫人を「京劇クラブ」に連れて籠絡した手柄で出世街道を驀進し、アメリカ大使に栄転して民主党内部の共産主義グループと関係を確立して帰国し、アメリカ華僑や日本華僑と関係を深めていた後任者の崔天凱を失脚させて、外交部長になり、続いて執行部の政治局員に出世した。

王毅は、革命第一世代の周恩来の息子で、

血筋が良いが身分が低かったと言われている。男系の家系を名乗っていない者は出世できない歪んだ国なので、実力で国際ネットワークを切り開いて山を登って来たのだ。父親の周恩来と言えば、毛沢東のナンバー2の立場が表向きで、実際には中共の国際的地位のトップに君臨していた。一九七二年にはアメリカのニクソン大統領も日本の田中角栄首相も、周恩来との会談で国交正常化を決めた。その裏には、周恩来が築き上げてきたフランス共産党との隠れた人脈が生きていた。アメリカ共産党を裏で動かしているのはフランス共産党であり、周恩来は「反ソ連共産党」の国際ネットワークを押さええていたことになる。



王毅もフランス共産党人脈

に深く結びつき、習近平の次の中共をどうするかというロシアが排除されている世界共産党会議で、次世代トップの評価が下されたそうである。

話は戻るが、内部的にバラバラにされて給料が上がらない軍隊内部では、明日の生活保障の為に日本や台湾と戦争するより「習近平を失脚させろ」という声が出始めているという。クーデターを恐れて軍隊を統一化しなかった習近平は、バラバラの軍隊内部の情報収集も情報操作も難しくなっ

ている。軍隊内部の「誰が」「何を」が判らないのだ。王毅とフランス共産党の打ち出したパンチが、やがてボディブローとなって習近平をダウンさせるだろう。国内で権力を急速に持ち始めた安全部と公安部が軍隊と対立することになり、その対立が政治矛盾となって国民に広がって行く。バタフライエフェクト——小さな蝶の羽ばたきが、やがて嵐になるのである。

習近平のイエスマンたちは、最近では自分自身が「反スパイ法に抵触する」という告発状を出されることを恐れ、疑心暗鬼で戦々恐々としている。政治を行なえる状況ではないことが国際的に話題に上ってきている。

中共執行部では「反スパイ法」が拡大解釈されていくことを止められない。安全部と公安部では、中国に工場を持つ西側企業の資産を没収する口実として、西側諸国と関係の深い人物をスパイ罪で逮捕する準備をしている。つまり安全部と公安部が第二の紅衛兵を演じる「第二の文化大革命」を準備中なのだ。

イエスマンと付度マンが担ぐ張子子の虎の神輿に乗った習近平は、いまや解放軍の内部分裂と安全部・公安部の暴走を止める力も喪失している。その現実を、我々は知っておくべきだ。

世界遺産となった「軍艦島」がブーム！

長崎の港から渡し船で三〇分ほどで「軍艦島」に到着する。編集子も上陸したことがあるが、二〇〇九年からは観光地として人気が出てきている。

ここは三菱鉱山の海中炭鉱があったところで、元々の「端島」は現在の島の四分の一の大きさだったそう。海中から掘り出した土などで埋め立てを拡大し、三菱のプライドを賭けて近代的な人工島を建設した。

大正年間のことである。

炭坑夫と言えば筑豊や三池などを想像する人が大半だろうが、ここは三菱社員のエリアでなければ勤めさせてもらえないほどの好条件だった。給料も昭和初期には、東京の大卒より三倍とも言われたほどだ。韓国の左翼や反日運動をしている連中が、軍艦島では朝鮮人の強制労働があったと騒いでいたが、大卒給料の三倍もらえる別天

地で働ける朝鮮人労働者が居た事実は決して言わない。

昭和初期から、新作封切り映画は「銀座の次は軍艦島」と決まっていた。軍艦島には映画館もキャバレーも飲食店も有り、地下道も空中回廊も整備されていた。何しろ大正年間にコンクリートの八階建て社宅が建ち並んでいたのである。「墓地と焼き場以外は何でもある」と言われた「三菱島」なのである。

ところが風向きが変わったのは、昭和三十九年の東京五輪と四十五年の大阪万博によって我が国が国際国家の仲間入りをしたために、自前の石炭は封印させられ、石油を輸入して工業を発展させる国の仕組みに変えさせられたことからだった。海中炭鉱は北海道の一部だけが継続を許され、その他は全て海水を入れて沈めさせられた。

石炭を諦めて、日本は近代国家になったことを忘れてはならない。

軍艦島の北側には大きな病院もあり、その裏側には拘留所のような隔離施設が並んでいた。これは海中炭鉱に長くいると、突発的に精神錯乱になる人がいたからだと言う。犯罪者を閉じ込めていたという噂もあるが、島には警察組織が無かったので違うだろう。三菱の統治は厳重だったので、社



員の相互管理で島の治安は守られていたと見られる。

やがてこの島も国の方針で封鎖され、社員は全て九州本土引き揚げとなった。大阪万博が無事に終わったことを見届けてからのことである。

その後は個人に島は売却され、渡し船の会社に転売され、長崎市が歴史遺産だと認定する作業に入った頃から観光の話が沸騰していた。ところが島の建物は崩壊寸前のもものもあり、危険地区への観光客の立ち入り制限をすることとなった。三菱が手放すと、途端に廃墟の島となった原因は、毎年の台風直撃である。風速も波浪の強さも想像を超えていたと言われるが、三菱では毎年十月からは台風の後始末に莫大な予算と人員を割いたそう。言わばそれくらい三菱にとって重要な島だったのだ。プライドの島と言っても過言ではない。

この軍艦島の往年の勇姿を再現したいと東大東洋文化研究所が乗り出し、内外の建築家や技術者など十一人のメンバーで「3D映像制作チーム」を立ち上げた。歴史研究者、三菱の資料、元島民などからのデータを駆使して、来年に3Dが完成する予定だという。

稿 寄 ネパール人留学生を増やす国家計画のゆくえ

「兵庫通信」代表 村上 学

最近ネパール人を町で見かけることが増えてきたが、現在は公式の労働者だけで十二万人いるそうだ。ここ十年で十三倍になったと言う。

ネパール人は韓国では普通に外国人労働者の一員だが、日本では何故かネパール人は少なかった。語学研修制度の枠から外れ

ていたことが大きな理由だが、最近では「日本ではネパールの五倍の給料がもらえる」と評判になり、ヒマラヤでガイドをしている人たちが山岳地域のガイドや急流下りのアルバイトをするために来日することが珍しくなくなってきた。都会では、インド料理店でコックとして働いているネパール人

が多く、インドの北部料理だと日本人が思っているのは、実はネパール料理だったという話もある。

昨年度の厚生労働省公式の外国人労働者の割合を見ると、最大はベトナムで二五・四%、続いて中国の二一・二%、そしてフィリピン、ブラジル、ネパールと続いている。今後の医療や福祉の分野で受け入れを拡大したいと政府が語っているインドネシアは、僅か四・三%しかない。ビザや資格試験の緩和を進めなければ、人手不足の医療や高齢者福祉のインドネシア人材は増えないだろう。

ネパール人の特色は、年長者を尊重することと自分の技術を惜しみなく他人に教えることだと言われている。その上、日本語の習得力も高いそう。留学生を受け入れても、とても扱いやすい国民性を持っているという。しかし、ネパール人そのものが日本には少なく、語学学校でもネパール人が通っている実績は少ない。

ベトナム人はビザのハードルを下げたら、途端に留学生や労働者の質が低下した。ベトナムのマフィアに所属している者も平気で入国しているし、広東省のマフィアのメンバーだというベトナム人も来ている。我が国の入管はいったい何を審査したのかとベトナム人に笑われるような「不潔、貧困、無学、犯罪者」というレベルの者まで入ってきている。政府の怠慢と言ふより、政策上のミスであり、推進した政治家が責任を取るべき問題なのだ。

ネパール人はヨーロッパ観光客に慣れているので、日本人は二流国民だと心の中では思っているらしい。でも同じアジア人だから、

日本人はネパール人を差別することは少ないと安心している。ヨーロッパ人はネパール人を奴隷と同じように差別するらしいが、その分、お金は沢山支払うそう。カトマンズの一流ホテルでは、その構図が誰の目にも明らかだと言う。

これからネパール人を日本で受け入れる体制を構築し、早めに優秀な人材を留学生として受け入れて就職してもらっておけば、その後はかなり楽になる。良い人材を確保することは、外交上の重要なポイントでもあるのだ。



イスラム教徒の受け入れについても議論されるが、毎日五回のお祈りと、宗教上の許可を得た食事(ハラール)の問題がネックとなつて話は進まない。インドネシアは世界最大のイスラム教国だが、サウジアラビアのワッハブ派のように戒律に厳しくはない。それでも最も厳格なサウジのワッハブ派の戒律に合わせたハラールを提供しようと、兵庫県の三田食肉センターではイスラムの屠殺人が三日月剣でコーランを唱えながら牛の頸動脈を切っているそう。この肉は正式なハラール肉として、全国に提供できるといふ。

日本はこれからは「世界の中の日本」でなければ生きられないが、今もモンロー主義のような鎖国が正しいと考えている人がいる。極端は、反対側の極端を強めるだけなので、結果的には「極端が国を弱くする」ことになるだろう。

自由主義と言われる国の価値観を集めて、イラクのサダム、リビアのカダフィを葬つて国家を解体した。その後の国家再生は自由主義国が地元の部族や宗派に放任してしまつたため、結局イラクもリビアも崩壊して、未だに再建できていない。

日本人はくれぐれも、アメリカ流の自由主義を標榜することなく、優しくきめ細やかな交際を続けて欲しいものである。その入り口に、今はネパール人が立っているのだ。

お知らせ

加古川志方・三島烈士碑慰霊清掃

とき 十一月二十五日(土) 正午～
ところ 兵庫県加古川市志方町西飯坂
玉の緒地藏尊内
事務局 〇九〇一四〇三三二七四三二 谷田

プーチンと金正恩の会談で決まったこと

反米反日の独裁者二人が会談したのだから、さぞ恐ろしいことが決められたに違いないと考えがちだが、実際にはどうだろう。

外交筋から漏れてくるのは「両国の求めるものは合意したようだ」との話である。両国が求めていたのは何かと言えば、ロシア側が「北朝鮮から弾薬と軍需工場の労働者」を求め、北朝鮮側は「ロシアの人工衛星のGPSを開放することとウラジオに政府事務所を開設すること」だったそうだ。

ロシア人は共通して大雑把で物忘れが激しいが、民族性なので修正がきかない。軍人でも、命令を大雑把に解釈して、細かな配慮など全くないそうだ。日本人から見れば、自己正当化ばかりする怠け者にはしか見えないだろう。逆に北朝鮮人は、命令に忠実で余計なことはしない習慣が何代にも亘り染み付いているので、統治の形は崩れにくいそうだ。プーチンは北



朝鮮の民族性を、韓国人とは違う真面目さや精密さがあると見ていられるらしい。確かに北朝鮮のレストランでは、漬物や煮物まで大きさをきつちり揃えており、餃子も皿に整列している。コップの水も八分目にぴったり合わせると。ロシア人には決して真似のできないことである。これだけ見ても、ロシア人と北朝鮮人の特徴の違いがはっきりする。

金正恩はミサイル開発を軌道に乗せて、ロシアのGPSで照準を合わせられれば万全だと思っている。日本も韓国も、北朝鮮に恐怖を抱くはずだと見ている事だろう。ウラジオには北朝鮮人も延辺朝鮮族も大勢

がマフィアとして住み着いているが、金正恩は今後の極東アジア情勢を見据えて、ウラジオに公式な政府貿易事務所と公安警察を置いておきたいと思っている。このマフィアには、日本領土の択捉島に縄張りを拡げる特権があるため、ウラジオを支配すれば北方領土・満州・沿海州に亘る大きなビジネスエリアが手に入ると考えている。

プーチンは周知のとおり、ウクライナ戦争で国内が疲弊し、軍需産業は大打撃を受けていることが世界に知れ渡ったことに困り果てている。サウジ・ドバイ・アブダビが仲介者となって冬に停戦協定の提案も予定されており、地球温暖化で、ロシア軍が敷設した対人地雷がツンドラ地域で地面が凍り付いて無力化する前に、何とか形勢逆転してウクライナとアメリカをぎゅふんと言わせてから停戦合意の段取りに持ち込みたい。

おそらく、十二月までに大規模な反転攻勢をしなければ停戦合意を受け入れることは出来ない。ロシア側は判断するので、いざとなれば北朝鮮人民軍から義勇兵を三万人ほど供給してもらい、国境地域で大規模な白兵戦を行なってウクライナを撤退させる作戦もあるだろう。

広島カープの球場には冷たい霧が立ちこめる

広島カープのマツダスタジアムでは、真夏の熱中症予防のために、今年から驚くほどの量のミストを噴射している。霧が立ちこめたかのような、冷たいミストに被われているの

だ(写真)。都会の駅前やデパート入口などで、気休めのように漂うミストとは規模が違う。このミストの正体は何なのか。

大阪市西区に本社があり、兵庫県西脇市の

工場でミスト噴射機を作っている「霧のいけうち」という会社がある。元々は広島県呉市で繊維機械を扱う会社だったが、レーヨンの糸を紡ぐ機会の口金をセラミック・スプレーノズルに改良したことがきっかけで、このノズルをミスト発生器に応用して開発を進めたのである。

西脇市に工場を建設してから、ミスト業界では知らぬ者がない会社になった。二〇一九年から製造を始めた「セミドライフォグ」は、畜産農家の家畜冷房システムやハウスの冷房と農薬散布に引っぱりだことなった。それを見た島根県の日本庭園が、幻想的な絵巻物の世界を表



現できると言い出して、庭園に使用されることが急増。電気代は一般的なクーラーの四分の一なので、二十四時間使い続けても安心だ。また、ミストの粒子が細かく、ミストの効果はそのままなのに服も体も全く濡れないのである。マツダスタジアムでは、テレビで映るたびに「あの凄まじい霧は何だ」という問い合わせ電話が鳴り続けるそう。水の微粒子が気化するときのヒンヤリ感は、見ているだけで涼しくなる。

来年の夏になれば、全国各地で採用されることだろう。すごい製品である。

急増する自殺原因「突発ウツ」

最近の自殺原因で顕著なのは、突発的なウツ症状によってひき起こされたというものだ。直接の引き金は、睡眠不足が続いているところに過度なストレスが掛かったという場合が大半らしいが、それによって突発的にウツ症状が現われている。思いつめて自殺に至るものではないので、ほとんど瞬間的に「何もかも終わらせたい」という厭世観や逃避観から手近にあるもので命を絶つことになる。

以前は、自殺と言えば借金、失恋、イジメ、家庭不和等々の決まりきった原因があり、それを思いつめて遺書を書き、自殺に至るということが言われていたが、最近では睡眠不足と過度のストレスが瞬間的に限界点を超えて精神状態を破壊して、突発的な重度のウツ症状になることが問題視されている。自殺に至るような要因が思い当たらない場合、突発ウツが隠れている。



これは誰もが予備軍として可能性を持っているもので、現代病の一種と言っても良いだろう。防止法は今のところ確立されておらず、熟睡時間を確保することとストレスをコント

ロールすること以外には方法が無い。

睡眠、食事、排泄、軽い運動、他人との会話…という基本的な生活リズムが保てなくなった現代では、「突発ウツ」の危険性は誰にも有る。基本的な生活リズムこそ生存保障の根本だと、人権活動家たちが早く気づいてくれることを期待する。

地方事務局活動報告

■ 関西事務局

◇ 十月七日（土）

・ 正午より、朝来市生野町・山口護国神社にて、恒例の生野義拳慰霊碑清掃奉仕。有志九名が参加し、雑草や落ち葉の除去作業に従事した。清掃後、明治維新前夜に散った志士の無念に黙祷を捧げ、境内にて直会。午後一時半頃解散した。

